

特集 子どもを取り巻く、図書館サービス



ブックトーク、おもしろい本あれもこれも

子どもたちへのサービスは、図書館にとって、大きな柱の一つとなっています。未来をになう子どもたちが、読書で楽しみや生きる希望を見つけ、調べ学習で、生きる知恵を身につけたり、知識を広げ深められる情報を手に入れたりできるように、東大和市立図書館は児童サービスに力を入れています。

今回は、個人への貸出しだけではない児童サービスをご紹介します。

— 目 次 —

- ・子どもを取り巻く、図書館サービス
..... 2
- ・ある日の図書館・・・
..... 4
- ・図書館協議会
..... 4

一人一人それぞれにふさわしい1冊を手渡すためのサービスはもちろん、それ以外にも様々な図書館サービスがあります

1. 学校への団体貸出

本の御用聞き、申し受けます！

児童サービスを担当する職員の仕事で、大きなウェイトを占めるのは、市内の小中学校から依頼があった本を、集めて、箱詰めして配達し、利用後に回収することです。

平21年度は127件、4,200冊以上もご利用いただきました。

各学校からそれぞれの教科の単元に合う調べ学習用の本や、教室の学級文庫に置く本が依頼されます。時には教員が合同研修で使う資料を用意することもあります。それらは、学校・学年ごとに箱詰めし、毎週金曜日に各学校へ配達と返却回収をしています。

2. 図書館訪問

図書館の裏側も見学します！

毎年、春には、市内全校の小学3年生が、冬には幼稚園や保育園の年長児が、中央図書館を訪れます。おはなし会を楽しんだり、普段は入れない書庫を見たり、車庫にあるみずうみ号に乗ったり、自分で選んだ本を借りるなど、いつも図書館に来ている子も、初めて来た子もワクワクする半日を過ごします。



小学生でも、一人前の図書館員

3. 学校へのお出張サービス

今日は、本をたのしむお祭りだ！

時には学校に出掛けて行くこともあります。今年度は、三小読書フェスティバル、九小読書のつどい、六小冬の読書旬間に参加しました。ボランティアの方と一緒におはなし会や本を紹介するブックトークをしたり、時にはみずうみ号も出動して、本を借りてもらいます。

4. 図書館の仕事体験

未来の図書館員がこの中から？！

中央図書館では、夏休みに「一日図書館員」を開催しています。市内の小学5、6年生を対象に、職員と同じエプロン姿で、カウンターでの貸出しや書架に本を戻す作業、本の装備やデータをパソコンに入力することなどを体験してもらいます。

このイベントは、応募者が多く、毎年、抽選となります。子どもたちは最初、「図書館員としての心構え」を緊張した面持ちで聞いていますが、最後は「楽しかった！」との声が多く聞かれます。

また、中学校ごとに学年は違いますが、職場体験で図書館希望の生徒を受け入れています。こちらは、1～2日と長時間なので、除籍資料の配布準備や、書架サインを作るなど、図書館の仕事の幅広さも体験します。

本好きで図書館通の生徒が多いのですが、感想は「本が意外に重かった」「仕事の種類がたくさんあって、びっくりした」など、大人の仕事の大変さもちょっぴり味わう機会になっているようです。

5. おはなし会

いくつになっても、聴くのはたのしい！

どの図書館でも、子どもたちの年齢に合わせた毎月定例のおはなし会をやっています。

プログラムは語って聞かせるおはなしと絵本の読み聞かせです。3歳以下の親子には、桜が丘、清原図書館のわらべ歌と絵本の会が盛況です。夏の「こわいおはなし会」、クリスマスおはなし会と、いつもと違う雰囲気の間もあります。詳しくはチラシをどうぞ。

6. 団体貸出

文庫の蔵書充実にも一役買います！

市内で活動するグループは本とCD、合わせて999点（うちCDは12点）借りられます。

市内には、個人宅や集会施設で本の貸出しをしている文庫がいくつかあります。子どもたちの「読みたい！」に応えるために、文庫の本と一緒に団体貸出で借りた本も、「文庫のおばさん」たちが手渡してくださっています。

7. 本読みボランティアへの援助

図書館はみなさんを、応援しています！

小学生に教室で、中学生には試験が終わってホッとしている時に、児童館の毎月のイベントとして、子ども家庭支援センターで赤ちゃんとお母さんに…と市内の様々なところで、絵本を読み聞かせるボランティアの方が活動しています。

図書館はそんな方たちに、読み聞かせ講習会を開催したり、児童書のコーナーに「読み聞かせにむく本」をまとめて紹介・貸出したり、「4年生にはどんな本を読んだらいいか？」といった相談を受け、一緒に本を選ぶこともあります。

8. 市民グループとのつながり

お互いに支え、支えられて…

東大和文庫連絡会は、中央図書館開館の頃から、図書館と深い関わりを持つグループです。市内の文庫や個人を会員として、子どもと読書のつながりについて、長年地道な活動を続けています。

2009年度版で23号となる文集『たんぼぼ』は、文庫連絡会の活動だけでなく、学校や地域で「子どもに読書を」と活動している東大和のグループの様子が一覧できます。こうした記録を毎年まとめて発表している例は、全国的にもそんなに多くありません。図書館には全巻揃っています。貸出しできますので、ぜひご一読ください。

図書館は、この文庫連絡会の定例会に参加したり、文庫連絡会・図書館長・図書館職員・学校関係者を交えた意見交換会などを行っています。

また、「布の絵本」は、平22年3月から貸出しを始め、幼児に人気があります。これらは布の絵本グループ「わたほ」が作成したものです。細かい部品が多い布の絵本ですが、新しい作品を作っていただくだけでなく、修理も引き受けていただいています。



大勢の子ども前で、読んであげたい定番ばかり

ある日の図書館…

多くの皆様にご利用いただいている雑誌は、スペースに限りがあるため、保存年限を区切って、年1回、除籍し、市民配布をしています。

次の出番を待つ雑誌たちです。

次回の市民配布

3/2 (水) ~ 3/14 (月)

中央図書館2階ロビーにて開催



図書館協議会からの報告

～東村山市立図書館見学記～

昨年度末、先進事例の視察として東村山市立中央図書館及び廻田図書館を訪問し、10代の子どもたちへのサービスについての考え方、取組状況、展示方針等の話を聞いて参りました。

東村山の図書館ではティーンズコーナーが広く、中・高生に人気の文庫本などが数多く置かれていました。展示・掲示等のアピールの仕方もとてもうまく、本が魅力的に見え、手に取りたくなる雰囲気でした。ブックリストで紹介されている本も楽しそうです。ティーンズコーナー専任の担当者がいることが大きいのではないかと思います。

東村山市立図書館HPでも、ティーンズコーナーの様子やブックリストが紹介されています。東大和市民は、東村山の図書館でもカードを作ったり、本を借りることができます。興味のある方は、一度行ってみたいはいかがでしょうか。

(図書館協議会委員 溝江澄子)

※ 東大和市では、中高生向きの本をヤングアダルトコーナーに集めています。

図書館協議会のお知らせ

平成22年度 第3回図書館協議会を開催します。

日時：2月24日(木) 午後3時～
場所：中央図書館2階 視聴覚室
議題：平成23年度当初予算(案)について
など

どなたでも傍聴できます。
当日、会場入り口にて受付いたします。

〈編集後記〉

図書館はオギャ〜と生まれた時から、人生の爽りの季節まで、いつでもどなたでも、それぞれの使い方、楽しみ方ができる場所。子ども時代にぜひ、それを実感して成長してくれたら、と願っています。

み記

発行：平成23年1月(通巻16号)

東大和市立中央図書館 Tel.042-564-2454

桜が丘図書館 Tel.042-567-2231

清原図書館 Tel.042-564-2944